



編集

豊平区役所総務企画課広聴係

〒062-8612

豊平区平岸6条10丁目

☎822-2407 ㊚813-3603

## とよひら元気印 (第74回)

まつもと よしまさ  
**松本 吉正** さん (72)

平成24年度札幌市優良農業者等表彰受賞 豊平区西岡在住

### 試行錯誤の末に生まれた札幌ブランド

札幌市の農業振興や優れた営農、生産の実績を挙げた人物や団体に対して行われる、「札幌市優良農業者等表彰」。松本吉正さんは、札幌で収穫されるホウレンソウ「ポーラスター」のブランド維持に貢献した功績が高く評価され、今年1月にこの表彰を受けました。

「私一人の力ではなく、周りの農家や農協の皆さんのおかげです。これまで支えてくれた家族、特に妻には感謝しています」と控えめに話す松本さん。今では後継者である息子さんご夫婦とも力を合わせ、収穫期になると朝早くから一家で畑に出ています。

当初は自宅のある西岡でホウレンソウ栽培をしていましたが、「そのころは、大雨などで安定した収穫を得られないことが多かったです」と振り返ります。その後、現在の清田区有明に畑を移し、ビニールハウス栽培や病気に強い品種を取り入れて何とか収穫量を安定したものに。甘く日持ちの良い「ポーラスター」という札幌ブランドを維持することに成功しました。



写真提供：  
札幌市農業協同組合  
札幌市豊平消防団



◀▲ビニールハウスでの収穫の様子。一家総出の作業です。



▶消防団長としても活躍しています。

### さらに安定した収穫を目指して

「ホウレンソウの収穫は全て手作業なので、年齢を重ねると作業を続けるのがつらいこともあります。機械化はなかなか難しいですが、何か良い方法を考えていたら」と、今後の安定した収穫量の確保にも前向きに取り組む松本さん。作業ができない冬の期間も、「次に来る収穫期に備え、農作物に関する勉強をしています」と、ブランド維持のための研究にも余念がありません。

農業を営む傍ら、松本さんは消防団員としても活躍してきました。その活動はすでに50年以上。「西岡分団長だったときに、訓練大会で優勝したのが良い思い出ですね」と笑顔で話します。平成21年からは豊平消防団の団長も務め、地域の防災リーダーとして火災予防にも取り組んでいます。

ホウレンソウの栽培が始まるのは、雪解けとともに4月中旬から。松本さん一家が愛情を込めて育てた「ポーラスター」が市場に出回る春は、もうすぐそこまで来ています。

豊平区の人口・世帯数

人口	215,795人	(+ 21)
男	100,495人	(- 1)
女	115,300人	(+ 22)
世帯数	110,736世帯	(+ 26)

(2月1日現在。( )内は前月比)

毎月14日は  
とよひらの日

豊平区ホームページ「夢ひらく 花ひらく とよひらく」  
<http://www.city.sapporo.jp/toyohira/>

豊平区広報番組「豊平インフォメーション」  
FMアップル76.5MHz 毎週木曜日15時～  
※3月21日は、区役所からの公開生放送です。  
内容は「学生団体Be-Harmonyの活動紹介」です。

